



広報

まつのやま

第一回健康マラソン

1986.11月号 (No.129)

11月号現在 総発行部数265人(男111・回場208人(男74)・回女216人(男7)・回世帯数1246(男57)
1986年10月1日発行



農業祭 芸能祭

好天に恵まれ

大勢の人出でにぎわう

今年で五回目を迎えた農業祭・六回目となる芸能祭が、十月二十六日の日曜日行われ、大勢の人出でにぎわいました。天候にも恵まれ、絶好の祭り日和となった会場には、年展示物も増え、一層の盛り上がりを見せていました。

今年、商工会主催のチャリティバザーや、岩魚のくんせい、焼鳥などの出店も出て、今までのトウモロコシ同様大変な人気を集めていました。町振興課で集めた高齢者特産品即売も多くの人の注目を集めていました。

子供達はボン菓子の前に、大人達は野菜の即売所にと行列を作り、人気のある商品はすぐに品切れになる程の盛況ぶりでした。「伝えていきたいわが家の味と香り」コーナーには、今年も五十九点の出品があり、伝統的なものから、まったく新しく工夫されたものなど、

非常に多種多様にわたるものでした。高校生の料理クラブの皆さんが昨年を引き続き、変わりアンボを研究、出品していました。その種類の多さに驚ろかされました。

おにぎり・モチ・手打ちそばの試食品も千八百食ほど用意され、その引き替え券を求め、朝八時頃より絶える事なく続いています。

センター二階大広間では、美術展が三日間にわたり開催され、先日行われた都展に出品された作品を中心に、多くの書や絵画・写真・工芸品などが展示されており、多くの見学者でにぎわいを見せていました。また、食品コーナーや美術展のまわりには多くの生け花が飾られており、清楚な美しさをかもし出していました。

加えて、松之山出身の方が中心となった津軽三味線演奏など盛り沢山の内容でした。上川手の皆さんが演じてくれた歌舞伎は、今までの「菅原伝授手習鑑―寺子屋の場」から「義経千本桜―鯨屋の段」

へと変わり、一段と熱の入ったものとなり、会場をいっぱい埋めた観客から大きな拍手が送られていました。この農業祭・芸能祭が、来年も豊作の中で行われるように期待したいですね。

第三回良質米共励会 最優秀賞

「米収量の部」中 尾 高橋ミチさん
「米代金の部」五十子平 涌井正二さん

五十五人の方が参加した第三回良質米共励会は、米収量の部と米代金の部で行われ、今年も立派な成績が生まれました。この共励会も今年で三回目となり、参加される農家の方の意気込みも年ごとに高まっているようです。

今年、天候が不順で、収量の減少が心配されましたが、最優秀賞とされた高橋さんの記録は、十アールあたり七四四キロと、昨年の七八八キロには及ばなかったものの、立派なものでした。

今回各賞を受賞された皆さんは、米作りに対し一年間努力された成果が、このような形となって表われたものと思われませんが、参加された皆さん全員が、良質米生産に情熱を燃やされ、この地における農業の発展を願っておられる様子がかがえました。

第3回松之山町良質米安定多収穫共励会入賞者

▷米代金の部

入賞区分	出品者		品名	10a当たり米代金
	住所	氏名		
最優秀賞	五十子平	涌井 正二	コシヒカリ	268,022円
優秀賞	〃	涌井 徳一	〃	262,890
〃	湯山	樋口 健一	〃	260,127
〃	水梨	相沢 良三	〃	254,206
優良賞	禿口	樋口 藤夫	〃	231,312
〃	赤倉	村山 里志	五百万石	230,144
〃	小谷	若井 征治	コシヒカリ	229,733
〃	曾根	久保田 寿栄	〃	228,943
〃	新田	久保田 勇	〃	228,154
〃	曾根	倉重徳次郎	〃	226,575
〃	豊間	小野塚敏夫	〃	224,996
〃	田	保坂 誠司	〃	224,996
奨励賞	湯山	樋口 清一	〃	223,812
〃	北浦田	早川 健一	〃	223,022
〃	上之山	畔上 勝治	〃	221,838
〃	藤倉	丸山 明	越みのり	217,882
〃	下川手	高橋精一郎	コシヒカリ	217,496

▷米収量の部

入賞区分	出品者		品名	10a当たり精玄米収量
	住所	氏名		
最優秀賞	中尾	高橋 ミチ	新潟早生	744kg
優秀賞	天水越	佐藤 良雄	アキヒカリ	707
〃	水梨	相沢 春義	新潟早生	705
〃	下川手	柳 久作	〃	697
優良賞	坪野	村山 恒雄	〃	685
〃	湯之島	竹内 多作	奥羽 302号	674
〃	中尾	樋口 真一	新潟早生	672
〃	水梨	中島 徹	〃	668
〃	松之山	小口和三郎	〃	659
奨励賞	東川	丸山 嘉幸	〃	647
〃	東山	渡辺喜久治	〃	641
〃	天水越	佐藤 正巳	アキヒカリ	636
〃	湯本	高沢 鴻太郎	新潟早生	621
〃	天水越	佐藤 慶一	アキヒカリ	619
〃	湯之島	山口 清治	新潟早生	603
〃	坂中	竹内 清	〃	594

第一八回錦鯉品評会

総合優勝は

中尾 高橋平八郎さん

第十八回目の松之山町錦鯉品評会が、農業祭の前日(二十五日)町民体育館脇で行われ、出品された一二五点の中から、色・形・大きさなどが審査されました。

「泳ぐ宝石」といわれるだけあって、出品されたどの鯉もすばらしいものでした。

錦鯉は育てるのに非常に手間がかかるので、鯉を飼う人達がだんだん減っているとのこと。

各部門の入賞者は次の通りです。

▽総合優勝 「紅白」 高橋 平八郎

▽総合準優勝 「紅白」 久保田 寿栄

▽ジャンボ賞 「三色」 樋口 ヨシ

▽一部(一八センチ未満) 優勝「紅白」 高橋平八郎 一等「三色」 山岸敬三郎 「その他」 畔上勝治

▽二部(二八センチ未満)



優勝「紅白」 高橋平八郎 一等「三色」 本山 豊 「その他」 高橋平八郎

▽三部(三五センチ未満) 優勝「光紅白」 山岸敬三郎 一等「紅白」 高橋平八郎 「三色」 村山 政栄

▽四部(四五センチ未満) 優勝「紅白」 高橋平八郎 一等「三色」 久保田寿栄 「その他」 丸山 定一

▽五部(四五センチ未満) 優勝「三色」 樋口 ヨシ 一等「紅白」 竹内 清司 「その他」 高橋平八郎

松代・松之山



親善野球大会

去る十月二十四日、松代中学グラウンドにおいて、松代・松之山の親善野球がナイターで行われました。

これは、野球を通じて両町の交流・親善を深めることを目的に、本年がその第一回目となりました。

出場したチームは、松之山町は春のリーグ戦に優勝した湯山の大樺チーム。松代町は町長杯・協会長杯を連覇したアックス・ボンバーズチームとの対戦となりました。

結果は、三対二で松之山の惜敗でしたが、緊迫した好試合でした。

試合後、東食堂に会場を移し、来年度以降もこの大会を続けることを確認し、懇親を深めて終了しました。



第5回

駅伝大会

優勝は4年連続松里Aチーム



今年で第五回を数える松之山町駅伝大会が、十月十日体育の日に行われ、昨年に引き続き松里Aチームが優勝しました。

今年、今までの各地区を周回するコースが、道路工事のため使えず、浦田・松之山地区だけを利用した十二区間二・二キロメートルで健脚が競われました。

出場チームは昨年と同じ八チームで、松之山・松里・浦田が二チーム、三省・布川が一チームという構成でした。

朝八時より浦田中学校で監督者会議、開会式が行われた後、九時十分、町長によるピストルの合図とともに、中学生男子が一斉にスタートし、競技が開始しました。

レース展開は、一区で飛び

松里Aが一着でゴールイン!

出した松里Aチームが、終始トップを守り続け、二位松之山Aチームに二十六秒の大差をつけ、この大会四連勝を果しました。

松里Aチームの逃げきりにより興味は、二位・三位争いになりました。八区で松之山Aと浦田Aチームがそれぞれ二位だった三省チームをかわし、そのままの順位を保ってゴール。以下四位には松里B、五位三省、六位布川、七位浦田B、八位松之山Bという成績でした。

今年の駅伝も無事終わった訳ですが、しかし十月十日という日は雨が降りませぬね。一説によると、昭和三十九年のオリンピック以来降っていないそうですよ。



後は頼むぞ(松之山A)

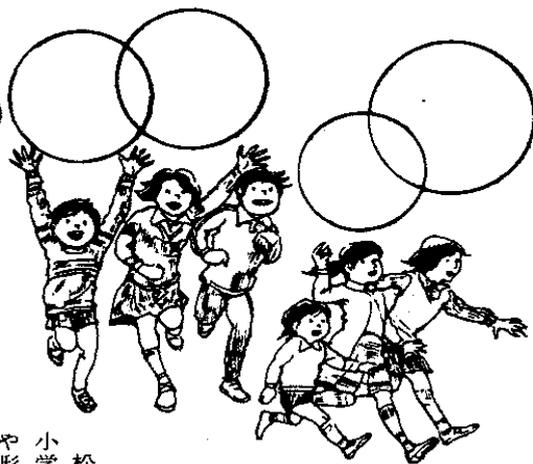
大会成績



▼総合成績		時間
優勝	松里A	1・16・11
準優勝	松之山A	1・16・37
3位	浦田A	1・17・11
4位	松里B	1・18・33
5位	三省	1・18・34
6位	布川	1・19・16
7位	浦田B	1・20・58
8位	松之山B	1・21・47

▼区間優勝者	
1区	福原 基裕(松里A) 7・31
2区	小野塚 茂(布川) 7・01
3区	村山 保(松之山A) 6・21
4区	村山 忠男(松里B) 6・59
5区	山口麻由己(浦田A) 3・43
6区	相沢 幸子(三省) 5・15
7区	本山 久(浦田A) 2・53
8区	本山 勉(浦田A) 5・36
9区	村山 真男(松之山A) 7・23
10区	村山 敦央(松里A) 6・59
11区	村山 章子(松之山A) 4・30
12区	村山 幸夫(布川) 8・29

交流の輪を広げよう



松里小学校と大町小学校

松里小学校と上越市の大町小学校では、数年前から規模や形態の異なる両校の子供達を交流することによって、学習能力や人間形成の向上に役立てようと、色々な形で交流を行っています。

今回松里小学校を訪ずれたのは、十月七日から八日にかけて三年生が、十五日には五年生がそれぞれの目的を持って訪ずれました。

三年生は山いも掘りと、農家訪問。五年生は大蔵寺牧場で牛の観察が主な目的でした。

この両校の交流は、今年度から新潟県交流学習研究推進校に指定され、今後三年間をかけて実践研究される事になりました。



野鳥コケンを珍らしそうにのぞきこむ

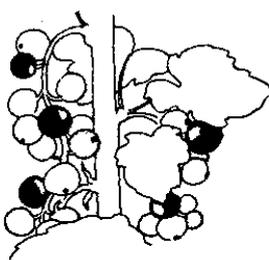
ります。来年からは新たに浦田小学校も大町小学校との交流が開始される事となっています。

二つの交流の模様を少し紹介してみますと、三年生の山いも掘りは、上湯の老人クラブの人達の協力を得て、生徒百人、父母の方が五十人以上参加して行われ、悪戦苦闘しながらも沢山の収穫があり、大成功でした。子供達よりも親の方が夢中になったようです。次の日は、十三のグループに分かれての農家訪問を行います。おいさん、おばあさんから色々な話を聞いています。

五年生は日掃りの交流で、牧場で牛の生態を観察した後

ジンギスカンを食べてから松里小学校に寄り、六年生の工作実習（野鳥コケン作り）を見学しました。

両校の交流は、これからますます活発になる事でしょう。



▲野鳥コケン作りを見学する児童たち

◀地元の老人から話を聞く3年生

郡美術展

第5回

松之山中学校教員

大塚啓さんが郡展賞に!



*M子、大塚啓さんの作品

今年で第五回の郡美術展覧会が、十月十八日から二十日までの三日間、浦川原村民体育館を会場に開催されました。会場となった村民体育館には、絵画五十七点・写真百十二点・書道五十八点・彫塑・工芸六十五点の展覧作品が飾られ、どれも力作ぞろい目で目移りするほどでした。

また、各部門の奨励賞には、書道部門で、田辺誠二さん(松口)・佐藤力さん(曾根)・柳裕子さん(湯本)の三人が、絵画の部で、草村慶子さん(湯山)が二年連続で受賞。写真部門では、小見重義さん(黒倉)の作品が選ばれました。

尚、郡展参加作品は、十月二十五日から三日間、休養村センターにおいて展示され、農業祭に訪れた人達など、多くの人の注目を集めていました。



▲けいとう 草村慶子さん

受賞者

松之山管領塚物語
 西掖省即事
 装迪詩
 花びん
 春の詩
 子供
 別れ
 牧村

「装迪詩」
柳裕子さん

「西掖省即事」
佐藤力さん

松之山管領塚物語
 西掖省即事
 装迪詩
 花びん
 春の詩
 子供
 別れ
 牧村

- ▽奨励賞「西掖省即事」
佐藤力 (松之山町)
- ▽ " 「装迪詩」
柳裕子 (松之山町)
- ※ 書道部門
- ▽ 郡展賞「小倉百人一首」
鈴木益蔵 (松代町)
- ▽ 奨励賞「松之山管領塚物語」
田辺誠二 (松之山町)
- ※ 絵画部門
- ▽ 郡展賞「バルコニー」
小林敏行 (浦川原村)
- ▽ 奨励賞「別れ」
近藤勝子 (牧村)
- ▽ " 「子供」
佐藤公義 (松代町)
- ▽ " 「けいとう」
草村慶子 (松之山町)
- ※ 写真部門
- ▽ 郡展賞「休息」
大滝 勉 (浦川原村)
- ▽ 奨励賞「春へ」
小見重義 (松之山町)
- ▽ " 「特訓」
五十嵐 修 (牧村)
- ▽ " 「春の詩」
高橋多一郎 (松代町)
- ※ 彫塑・工芸部門
- ▽ 郡展賞「M子」
大塚 啓 (松之山町)
- ▽ 奨励賞「愛」
若井 優 (浦川原村)
- ▽ " 「花びん」
黄和 章 (浦川原村)
- ▽ " 「びく」
武田都助 (大島村)

11月 雇用保険不正受給 防止啓発月間

雇用保険は、みなさんが失業した場合に、その間の生活と仕事探しを援助するものです。つまり積極的に就職しようとする意欲と、就職できる能力があり、実際に仕事探しをしている人に限って、雇用保険は支給されます。

〈不正受給は厳しく処分〉

このような、雇用保険の制度の趣旨に反して、就職しているのにその事実を届け出ないなどのやり方で雇用保険を不正に受けた場合は、厳しく処分されます。

〈制度を正しく理解して 有効な活用を〉

十一月は、「雇用保険不正受給防止啓発月間」です。



大切な雇用保険が正しく運営されるようこの月間を機会に、現在雇用保険を受けておられる方だけでなく、労働者、事業主その他の皆さんも、雇用保険を正しく理解しましょう。

〈雇用保険の加入は おすみですか〉

雇用保険は、労働者を一人でも雇用している事業所は、農林水産業の個人企業の一部を除いて、すべて加入が義務付けられております。

従って、事業主は労働者が希望すると否とにかかわらず加入手続きをしなければなりません。

年末資金取扱中！

国民金融公庫高田支店

- ◇ご融資期間
 - 運転資金 五年以内(必要に応じて七年以内)
 - 設備資金 十年以内
 - 特定設備資金 十五年以上
 - ◇基準利率 年六・四％(固定金利)
 - ◇ご利用いただける方
 - 事業を営む方
 - なお、飲食店、理美容業など環境衛生業種を営む方
- の設備資金も取扱っております。
- 年末は混み合いますのでお早めにご相談下さい。
- なお、詳細は最寄りの商工会、または、公庫窓口(電話 〇二五五―二四―二三四〇)へご照会下さい。

税を知る週間

11月11日～17日

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、幅広い活動をを行っています。

税金は、国や地方公共団体が活動するための大切な財源であり、私たちが生活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ。わが共同社会を維持するため、の会費であるといえましょう。

国税庁では、税の仕組みと使いみちを正しく理解していただくために、十一月十一日(火)から十七日(月)を「税を知る週間」とし、期間中「この社会あなたの税が生きている」をメインテーマに、各種の行事を全国的に行います。

一例を上げますと、〈座談会などの開催〉〈税に関する資料の展示〉〈税務相談〉などとなっています。この機会に是非税の勉強をしてみてください。

詳しくは最寄りの税務署・役場税務相談室へお尋ねください。

観光キノコ狩り

秋晴れの大巖寺高原で!



早川先生の鑑定を覗きこむ参加者



種類ごとに分けられたキノコ

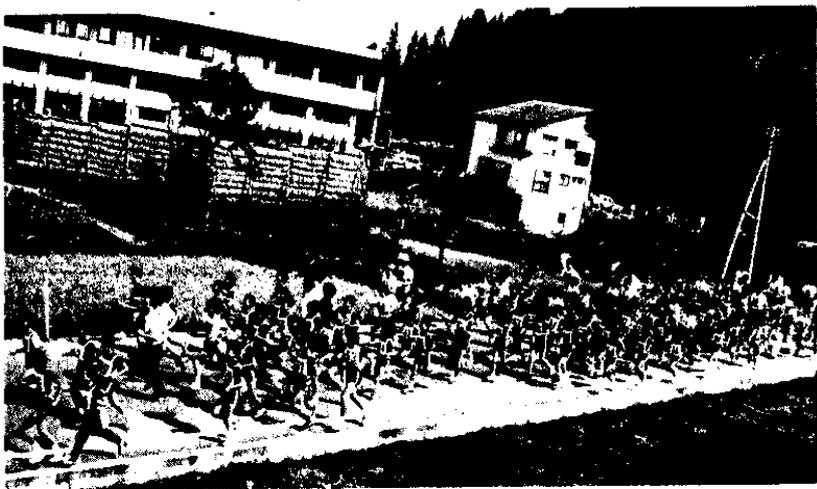
松之山観光協会主催のキノコ狩り大会が、今年も十月十日に大巖寺高原で開催され、秋空の下、県内外から百人の方が参加して、にぎやかに行われました。

午前十時頃より約一時間半山に入ってキノコ狩りを楽しんだ後、採って来たキノコを講師の早川幸一先生と、地元の滝沢博さんより鑑定してもらいました。会場となった希望館の一角には、キノコが種類別に分けられてあり、参加者たちは種類の多さに驚いて

ていました。この日採れたキノコは、食用、無毒、毒合わせで六十九種類が確認され、中には、タケリタケ、きぬがさだけなど七種類の珍らしいキノコも採れました。六十九種の中で本場に毒があつて危険なものは、わずかに十種類と聞くことでしたが、知らないキノコは食べない方が無難でしょう。

・鑑定の後、キノコ汁で昼食をとり、午後からは早川先生によるキノコ講習会が行われました。

第1回健康マラソン 200人が2キロに挑戦



大人から子供まで已之下線をまっしぐら!

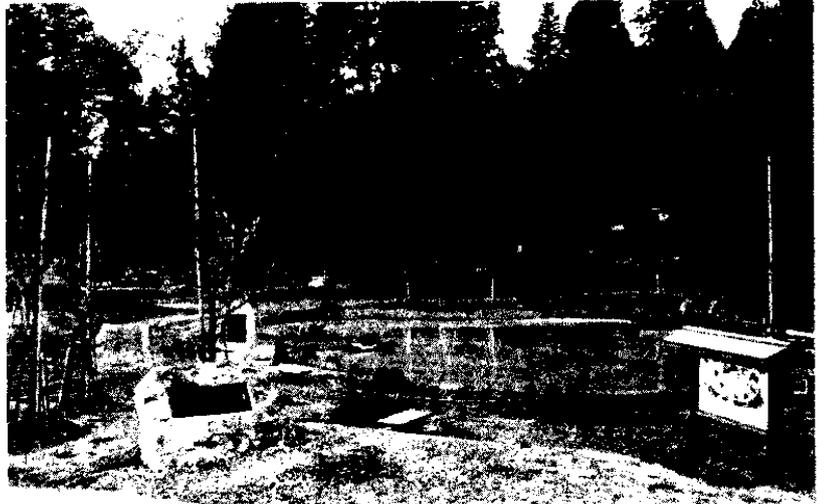
十月十日の駅伝大会終了後、第一回目の町民健康マラソンが行われ、保育園児から六十歳以上の方々までの町民二〇〇人が参加して、二キロのコースに挑戦しました。

この健康マラソン大会は、今回が初めての試みでしたが、秋空の下、一人ひとりが自分

のペースに合わせて走れるとあって、駅伝大会のような緊迫感はないものの、参加者には好評のようでした。

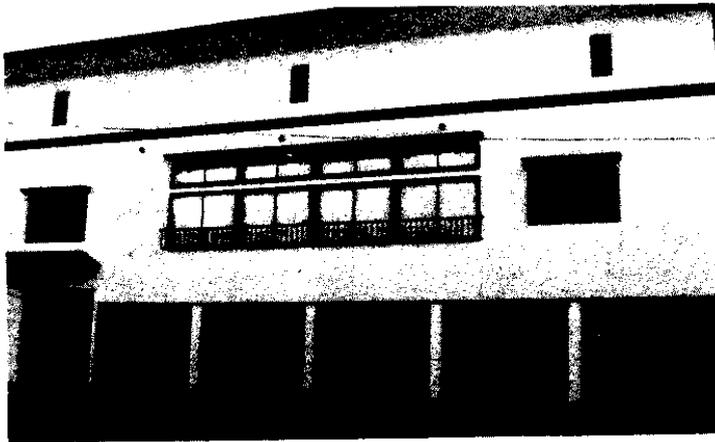
最近、市民マラソンなどに人気が集まっていますが、松之山の健康マラソンも、多くの町民に長く親しまれる大会に育ってほしいと思います。

鏡ヶ池復元工事 終わる



三年程前より工事が進められていた、中尾部落の鏡ヶ池復元工事が、十月二十一日にようやく完了し、地元の方々に喜ばれています。
由緒ある鏡ヶ池も、手を入れられずに荒れる一方で、せっかく訪れた観光客もガッカリされる方が多かったのです。

が、すっかりきれいに整備され、見違えるほどとなりました。
来春からは、ここを訪れる観光客もすつと増える事と想います。
中尾部落では、この完成を祝う会を十一月に計画されているそうです。



湯山集会所（一階が車庫に）

▼ 五十子平集落開発センター



湯山 新しい集会所完成！ 五十子平

このほど湯山部落と五十子平部落の集会所（五十子平は集落開発センター）が、それぞれ完成し、多くの利用を待っています。
湯山部落集会所は、県道改良工事で立ち退きの対象となり、現在地より少し湯本寄りの所に新築されました。木造二階建（一階部分車庫）、延面積一九八・七二㎡。一・七四〇万円で樋口建築が建てたものです。大変大きな建物で、神楽の練習などもゆつた

り出来ると思われれます。
五十子平集落開発センターは、木造二階建て延面積が八七・七二㎡。一、一七五万円の経費をかけ、カンエツ興業が建築したもので、調理実習室なども整備されており、大変きれいなセンターです。
竣工式が湯山部落では十月三十日に、五十子平部落は十一月七日に行われ、それぞれ部落総出で、この完成を祝いました。



国民健康保険

異動の手続きは忘れずに!

出稼ぎで社会保険に加入したら

証明書を送ってください

世帯主は、自分の世帯に属する被保険者の資格に異動のあった時(他市町村への転出や出稼ぎで職場の健康保険に入ったとき、子どもが生まれた時、死亡した時など)は、必ず十四日以内に届出をしなければなりません。

出稼ぎで社会保険等職場の健康保険に加入する人は、出かける前に役場の国保係から社会保険加入の証明用紙をも

知ってますか? もう一枚の保険証

保険証は、一世帯に一枚が原則ですが、出稼ぎ、長期の旅行などの場合、あるいは修学のため他の市町村に住むというような場合は、一世帯一枚の保険証では間に合いません。

こういう場合、特にもう一枚の保険証の交付をうけることができます。出稼ぎで社会保険に加入され

らい、会社から証明を受けて役場へ送ってください。

この証明書が届くと、あなたの家庭に連絡して国保の喪失届けをしていただき、国保の保険証を係に返してもらいます。



ある方は、その家族も一緒に被扶養者として社会保険に入ります。

あなたの保険証のほかに、家族の方に「遠隔地被保険者証」を受け、家族の方に送ってあげてください。

社会保険に加入しない方には、国保でも特に一枚の保険証を交付しますので、国保の係へご相談ください。

ご利用ください!

正月一時帰省バス

上野発の帰省バスの運行経路につきましては、昨年から待望の関越自動車道も全線開通し、そこを利用してのコースとなっておりませんが、今年も昨年同様の運行経路といたします。

又、再赴任バスは東京・名古屋とも一月四日、朝九時に出発の予定です。

▽帰省バス運行日程

○東京 十二月二十八日(日) 二十九日(月) の二日間となります。

○名古屋 十二月二十八日(日) の一日だけとなります。

▽乗車料金

○東京 四、九〇〇円
○名古屋 六、〇〇〇円

▽運行時間

○東京コース 集合 午前九時、出発九時四十分。松之山到着、午後



○名古屋コース 集合 午後八時。出発九時。松之山到着、午前六時三十分予定。

◎一月四日帰省

東京・名古屋両コース共、午前八時集合、九時出発。

▽乗車券発売期間

○帰省バス 十一月十日から十二月十日まで。

○再赴任バス 昭和六十二年一月二日(午前九時)午後三時まで



中年「男の厄年」を 考える

男の厄年は二十五歳、四十二歳、六十一歳と三回あります。昔からの言い伝えて、厄年には災いが起こるとされていますが、健康面については科学的な根拠がないわけでは
ありません。特に四十二歳の厄年ともなると、体力が衰え始めているにもかかわらず、精神的にはまだまだ若いつもりでいる。このギャップに気が付かず、つい二十代、三十代のつもりで無理をすることが多いので、一度病気になる
と大病になりやすいのです。四十歳代は「成人病の入口」

ともいわれます。この厄年年代を無事に過ごすかどうか、その後の長い人生に大きな影響をもたらします。

肥満も

厄年の落とし穴

厄年の落とし穴は、成人病と関係の深い肥満にもあります。四十歳代になると運動量は減っているのに、食べる量は三十歳代より増えているということが良くあります。

だからといって急に運動などすると、かえって心臓などに負担をかけるので命を落しかねません。運動量を増やすためには、一生懸命歩くことを考えてみてください。

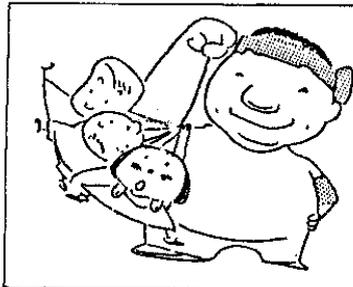
四十歳になったら

年一回は検診を受ける

ストレス・体力の衰え・肥満など、四十代はいろいろな負担が急にかかりはじめる年代です。

これらの負担を軽くするために、年一回くらいの割合で検診を積極的に受けるようにして下さい。

厄年は、長い人生の区切りです。健康へのチェックを忘れずに！



健康コーナー

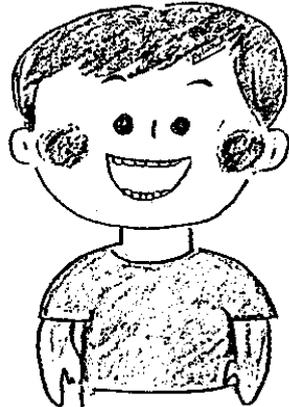
さて、今回は暗い性格にならないための話です。

人の性格が形成される時期は、千差万別です。あるところで生まれ、環境に支配されてその人は思考や行動を行う方式を身につけていきます。

「明るい」と「暗い」という対照的な性格がありますが、明るい性格は、両親を中心にした明るい環境で過ごした場合に育まれることでしょうし、その逆に暗い環境なら、暗く育っていくでしょう。

むし歯だらけの子供時代を過しますと、暗くなることが多いと言われます。例えば、友達と一緒に楽しく食事をするとときに、自分だけあるものを食べられないとか、前歯が溶けてしまつて、黒い根っこだけ残っているのが、笑うと見える場合には暗くなるでしょう。また、乳歯がむし歯だらけですと、永久歯の歯ならびが悪くなり、不潔になり、むし歯ができてしまいます。

八重歯や乱ぐい歯や前歯のむし歯は、美容上好ましいものではないので、口に手をあてて笑つたりしますが、



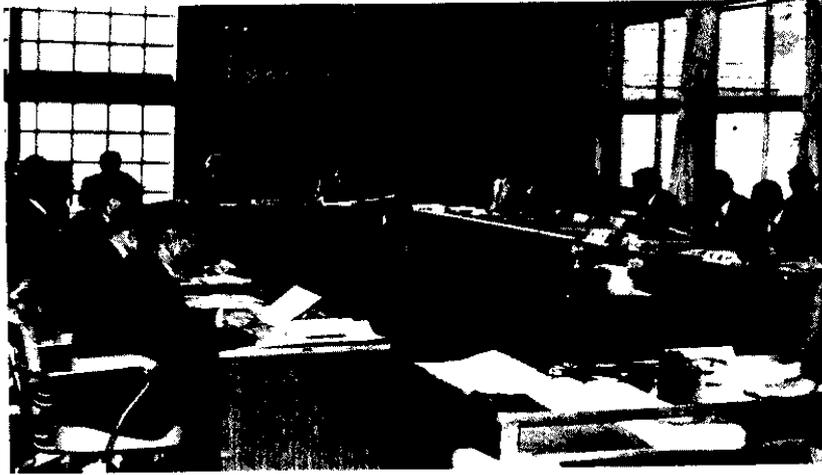
歯ならびと性格

次第に笑わない癖がついてきて、それが他人の目には暗くうつる様になります。習性となる一つの見本ですね。

乳歯のむし歯も、その人の性格を変えることがあるという事を考えたことがありますか？

むし歯の治療と、自分の歯ならびに合った歯の磨き方を身につけるため、歯科医院を訪れ、詳しい話を聞くことが大切です。

松之山で 「豪雪過疎地の明日を考える」 フォーラム開催



「豪雪の過疎地で生き残るには」を考える公開討論会が十月二十五日松之山町役場を会場にして開催されました。この討論会には、国土庁や新潟県・東頸城各町村・高柳町の幹部、地域づくりリーダーなどが出席、また、過疎地域問題調査委員会、大学教授の方も数人出席され、雪・特産品開発・過疎地における暮

らし方などについて熱心な討論がされました。これは、国土庁の委託事業として「過疎地域問題調査会」が行ったもので、現在の過疎地域振興特別措置法が、六十五年三月に失効するに当たり、今後の過疎地域振興対策、豪雪地帯の地域づくりの方向を模索するために開かれたものです。

国民年金

「現況届」の

提出を忘れずに!

国民年金の老齢年金や通算老齢年金を受けている人は、年一回の現況届が必要です。これは、年金を引き続き受けるための大切な届出で、受給者の生存を確認するためです。この届出を忘れると、年金の支給が一時止められます。なお、現況届の用紙は、誕生日の約一カ月前に社会保険庁から送られてきますので、役場の住民係で証明をしてもらい、郵便ポストに投函してください。

老齢年金受給者は現況届を



巡回図書が入れ

替えになりました

中央診療所・待合室に設置してある県立図書館の巡回図書が、十月末で入れ替えとなりました。地理的な関係もあって利用状況も大変良好のようです。新たに入れ変わった図書は、一般書

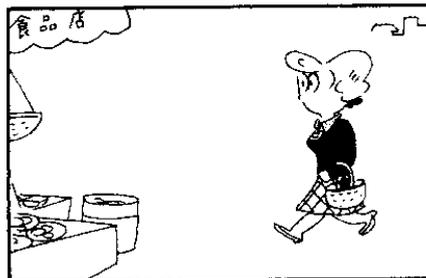
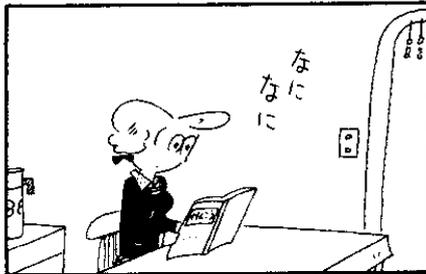
児童書など二三〇冊で、来年の五月まで設置されます。引き続きご利用ください。なお、前回の図書で、まだ数冊が返却されていません。借りるときは貸出簿に氏名、部落名をはっきり記入の上、貸出期間(十日間)内に必ず返却するようお願いいたします。

入札結果

- ▽ 飯塚建設 一、二八〇万円
- ▽ 産第二十五号 地すべり関連工事(天水島池田地区) 高橋組 七〇〇万円
- ▽ 産第二十六号 農業用水排水施設整備(湯之島地区) 飯塚建設 一七〇万円
- ▽ 産第二十七号 田復旧工事(大荒戸地区) 大海組 一三〇万円
- ▽ 産第二十八号 田復旧工事(大荒戸地区) 大海組 二三〇万円
- ▽ 産第二十九号 農業用道路災害復旧(東川地区) 大海組 一三〇万円
- ▽ 産第三十四号 農業用水路復旧工事(豊田地区) 村山建材 一六〇万円
- ▽ 建第三十五号 三省校大荒戸線舗装工事(小谷地内) 福田道路 七〇〇万円
- ▽ 建第三十九号 道路災害復旧工事(大荒戸) 高橋組 一、四五〇万円
- ▽ 産第十九号 地すべり関連工事(天水島地区) 高橋組 一、一五〇万円
- ▽ 産第二十号 地すべり関連工事(天水越地区) 高橋組 四二〇万円
- ▽ 産第二十三号 地すべり関連工事(天水島古宮地区) 大海組 一、二一〇万円
- ▽ 産第二十四号 地すべり関連工事(天水越持田地区)

さわやか君

西村 宗



高齢者特産品の開発



すでに多くの作品が (お盆、竹細工、ミニスッポンなど)

町では、特産品の開発と老年寄りの生きがい対策の両面から、高齢者特産品開発に取り組んでいます。これは、お年寄りの方々で色々な技術、趣味などをお持ちの人が沢山いると思われませんが、それらを少しでも町のため、自分のために生かしていただけたらという考えからきています。とにかく何でも作って持って来て下さい。(例えば、小さなスッポン・ワラゾウリ・花ビンなど)昔からのワラ細工、新しいアイデア品、長い間の知識と経験を生かしてみてもいい。作っていただいた物は、役

場振興課の方で買い上げますので、どんな物でもけっこうですからお持ち下さい。もうすでに何点かの品物が届いています。これから長い冬が来ますが、冬仕事に是非取り組んでみて下さい。詳しいことは役場振興課にお訪ね下さい。電話六局三三三内線六十六番



お詫び

10月号広報「すっこんくい話」の中で、重野京子さんの名前が、重野和子さんと誤って掲載されておりました。お詫びして訂正いたします。

ほくの絵 わたしの絵 布川保育園

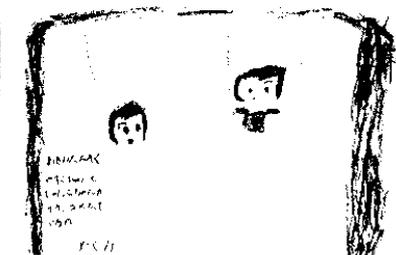
秋の遠足の思い出



たかはし たかひろくん



せきね ひろしくん



おのづか めぐみさん

よろしくお願ひします

(浦田駐在所)

安塚警察署浦田駐在所に勤務されていた菅井巡查が、八月末で転勤され、後任として新津警察署から平田孝男巡查が着任されました。
平田さんは三十一歳で、奥さんと二歳になる男の子の三大家族だそうです。
趣味は将棋、その他はいろいろですが、将棋は三段の腕前だとか。浦田地区の方、是非手合わせをしてみてください。



平田孝男巡查

こよみ

▼十月のできごと

- 10日 駅伝大会 健康マラソン・観光キノコ狩り
- 13日 行政相談 15日まで (三会場)
- 15日 消防分団長会議
- 16日 農家意向調査員会議
- 18日 郡美術展 20日まで 浦川原村会場
- 21日 農地利用増進契約
- 22日 たばこ収納打合せ会
- 23日 農業所得調査員会議
- 24日 母子福祉役員会
- 25日 フォーラム豪雪過疎地の明日を考える
- 26日 農業祭・芸能祭
- 27日 農作物損害評価会
- 31日 農業委員会総会

停電 東北電力

- ▼十一月二十六日(水) 午後一時から四時まで
- 天水越の一部
- ▼十一月二十八日(金) 午前九時から十二時まで
- 東山の全部

みんなガンバレ



編集後記

十月中旬に雪が降る。北海道の話ではありません。大森寺高原深取峠の話です。
木の葉が落ちるところが紅葉にも早いというのに、いったいどうなっているのでしょうか。寒いのが苦手の私には、嫌いな季節が早ばやとやって来るのがたまりません。
さて、取り入れも終わり出稼ぎの時期になります。働きに行かれる方々、身体に気を付けて頑張ってくださいと思います。